



阪本病院

(平成27年7月31日訪問)
平均在院日数185日（平成27年6月1日時点）

積極的な取組など

- 退院支援プログラムの一環として、外泊等に使うことを目的にマンションを借りていた。
- 病棟プログラムとして絵画療法が行われていて、病棟に入りする時に通る階段や病棟の壁には花の絵などが描かれていて暖かい印象を受けた。
- 携帯電話はルールに同意した上で持込み可能。
- 顔写真入りの職員の紹介がある病棟があった。
- 各病棟で定期的なお話し会等が開催されていた。

前回の訪問(平成22年6月)から改善されていたこと等

- 前回訪問時、厚生労働省告示に定められている連絡先機関の電話番号の掲示がない病棟があったが、今回は訪問した全病棟に掲示されていた。
- 前回訪問時、意見への回答が細かい字で書かれ、病棟によって掲示の前に机が置かれて読み難かった。今回は大きな文字で読みやすい場所に掲示されていた。

病院全体

人権委員会・意見箱

人権委員会委員長は事務長で、開催は月1回。月1回、サービス向上委員会が投書の回収と検討をする。投書への回答は掲示されていた。

金銭管理

管理料は110円/日。鍵付きロッカーはベッド横の床頭台にある病棟と、廊下等にある病棟があった。

医療福祉相談室・退院支援

精神保健福祉士は10名で、そのうち病棟担当が7名だつ

● 前回訪問時にあった下記の点は今回なかった。

- ・ 6病棟で複数の患者から「権力を持っている患者がいる」との声があった。
- ・ 患者から「ポータブルトイレの汚物処理に職員呼んだら『自分でして』と言われた」との話しがあった。
- ・ 6病棟のトイレは、立って用をたしている様子がデイルームから見えていた。
- ・ 6病棟に掲示していた弁護士会の相談窓口が「ひまわり」ではなく古い名称（「人権擁護委員会」）だった。
- ・ 7病棟では、廊下を歩くと便臭がした。病室内のポータブルトイレは使用後、時間が経っていた。
- ・ 7病棟では、洗濯機につながる水道の栓に「触るな！」と書かれたシールが貼られていた。
- ・ 7病棟のデイルームの机に直接マジックで患者の名前が書かれていた。

● 前回訪問時、3-3病棟のソフトな隔離室に患者が爪で書いたような文字が多数残っていた。今回この部屋は使用中のため、確認することができなかった。

た。入院期間の短い患者への対応が多く、長期入院患者の退院支援については、対象となる患者の「掘り起こし」等の必要性は感じている。

外出

開放病棟(1-1、1-2病棟)では9:00～17:00は病棟から直接院外に出られる。近隣にお店も多く、患者は100円均一の店等へ買物に出かけていた。その他の病棟で院外外出ができる患者は、詰所で外出証を受け取り、外来近くの扉で守衛に許可書を見せて外出する。3-2病棟以外では9:30～16:30に病棟出入口の扉が開いていて、院内開放の患者は自由に入り出していた。中庭には数名患者がいて職員に声を掛けたり、患者同士で話しかけていた。



OT

各病棟にOTの目的やプログラム(園芸・料理・音楽鑑賞・コーラス・動物介在療法・アートクラブ・リラクゼーション・カラオケ等)の紹介が掲示されていた。病棟OTも曜日ごとのプログラム(創作・リラックス体操・足湯・個人活動等)が掲示されていた。複数の病棟の患者から「OTが楽しみ」との声が聞かれた。

病棟の様子

各病棟に喫煙室があった。

電話

1-2病棟は人通りの多い廊下にあった。2-2病棟は詰所の出入口の横にあった。3-3病棟はデイルームの端に2台あった。衝立てがあった。相談窓口の掲示は電話の前にあった。

病室

3-3病棟では4人部屋が中心だった。4名のうち3名分しかベッド周りにカーテンがなかった。各部屋の廊下側の1名分にはカーテンがないため、廊下側から丸見えにならないよう間に仕切りが置かれていた。その他の病棟では3人部屋と6人部屋が多かった。ベッドを仕切るカーテンは設置されていた。

1-2病棟 開放 男女 60床 精神一般15:1

長期入院の患者が多いが、入院してすぐの患者もいるとのこと。地域移行・地域定着支援事業の利用者はいない。病棟プログラムとして定期的なお話し会を開催していた。ボランティアによるお話し会もある。大半の患者は院外に外出ができ、金銭の自己管理は27名。デイルームでは大きなスクリーンを使って映画「鉄道員」が上映されており、多くの患者が見入っていた。詰所内には職員が数名いた。病棟は昭和5年築で平成19年に改築されてはいたが、病室内の1人当たりのスペースや廊下は狭く、照明も暗かった。隔離室は詰所奥に1室。モニターカメラと集音マイクがあった。

デイルームには新聞があった。テーブルに一部の患者の名前が記載されたシールが貼られていた。

患者の声

「偏食なので、朝は喫茶店、夕食はふりかけで食べたり、スーパーで買う。テレビのチャンネルを勝手に変える職員がいた。薬は1週間分を自己管理している。1日分の人もいる。病院で管理されている人については、職員が台車でテーブルまで運んで来る。お金は自己管理。病院管理の場合、煙草を吸う人は上限5,000円だが、6,000円の人もいる」「退院できるが入院継続してもいいと言われている」「1-1病棟から移って4年になる」「先日入院した。退院の目処は聞いている。携帯電話も外出も自由だからよい」

2-2病棟 閉鎖 女性 54床 精神一般15:1

慢性期の患者を受け入れている。金銭の自己管理は10名。在院期間が30年や40年と長い患者もいる。廊下が狭く、エレベーターがないため、この病棟に入るには階段を使用できる患者であり、毎日4~5名の患者が外出しているとのことだった。

週1回、約40分のミーティングを行っており、多くの患者が参加しているようだった。ミーティングで話し合った内容はホワイトボードに記録され、不参加の患者も何が話題にあがったのかを読むことが出来た。

デイルームでテレビを見たり、お菓子を食べたり、スタッフと談笑する患者がいた。廊下で自分のラジカセで音楽を聴く患者もいた。また、詰所前に患者が集まり、職員と話す姿が見られた。

患者の声

3~4名からは「結構です」等はっきりと断られた。「OTには楽しく参加している」「20年入院。風呂は大人数の患者が入るから、ゆっくり入れるわけじゃないけど、3回入れるから嬉しい」「もう長いこと入院している。最近、家族の面会がない」「売店には1人で行ける。買物の時には何を買ったらいにのか迷って困る。何を買うのか相談したいから職員に同行して欲しいと言ったけどダメだった」「手続き的なことは看護師にお願いしたらしてくれる」「希望者で(病院がこの病棟のために借りている)マンションに行くことがある」

3-3病棟 閉鎖 男女 60床 急性期治療1

入院して3ヶ月たつと3-1病棟に移る患者が多い。詰所内やデイルーム、廊下にも職員が多くいた。実習生5名ほどが患者と折り紙やトランプをしていた。デイルームでは心理の



プログラムが始まり、患者が自然に集まってきていた。

看護師が行うお話し会、病棟活動(創作やレクリエーション)や心理カウンセリングの案内などが掲示されていた。デイルームには給茶機が2台、患者が自由に使える冷蔵庫・新聞・漫画・雑誌・将棋・オセロ・マージャンなどがあった。デイルーム横に喫煙室があった。室内の扉の引き手にライターが吊るされていた。ドアを開けてから閉めるまでの時間が少し長いと、デイルームの真ん中付近までタバコ臭が届いていた。

隔離室

モニターカメラと集音マイクがあった。患者が職員を呼ぶときはドアをノックすることだった。

患者の声

「20年以上入院している。職員と話すが、どの服が何の資格なのかは不明」「今日退院する。医師も職員もよく話を聞いてくれる。外来と入院の担当の医師が別なのが残念だが、自分はここを選んで入院している」「看護師はやさしい。院内は自由に出られる。色々なプログラムもあり、入院して友人ができた」「アロマや動物のOTプログラムは気持ちが和む」「入院したところ。入院生活の流れなどの説明は丁寧してくれた。少しこでゆっくりする」

7病棟 閉鎖 女性 71床 精神一般15:1 亜急性期

病棟の廊下は回廊式になっており、デイルームを含めて病棟内を一周できる構造になっていた。エレベーターは9:00～22:30は患者が自由に使うことができる。当日は十数人の患者がデイルームで、テレビを見たり、職員と話しをして過ごしていた。職員が廊下を清掃していたため、病棟全体に塩素臭があった。金銭の自己管理の患者は約20名で、テレホンカードを自己管理している患者は7～8名とのこと。

グループミーティングが月2回開催されていた。ミーティングの内容は模造紙に大きく書かれ、壁に貼られていた。冷蔵庫が欲しい等の意見が出ていた。新館から移ってきた患者が、新館では冷蔵庫があったのに、この病棟にはなく不便に感じること。

この病棟では洗濯機の使用が無料になっていた(1-2病棟、3-3病棟ではコイン式で有料だった)。10数名が利用しているとのことで、訪問時も患者が順番に洗濯機を使っていった。

患者の声

「職員はやさしい」「心乱すことがあっても、自分で落ち着かせている」「もう21年いる。預けているお金があるので、もっと受け取って自由に使えたらしいのに」「主治医は厳しい面もあるけれど、私の希望に沿うように一生懸命考えてくれる。よく話している」「退院のことは病院のケースワーカーと話している。さっきも話してきた」「ゆっくり療養できている」「喫煙室が使える時間には自由に吸えるから嬉しい」「困っていることはない。あっても先生とかに話せているから大丈夫」「外出はしていいと言われるけど、ほとんどしていない。家族が色々買ってきてくれるので必要がない」

検討していただきたい事項

権利擁護と患者の視点に立った点検の必要性

今回訪問時には人権に関する研修は行っているとのことだったが、今回も下記のようなことがあった。

- (1) 2-2病棟では使用中の外から施錠できる個室の扉に、隔離の理由等が書かれた「隔離にあたってのお知らせ」と入室中の患者の排せつチェック用紙が貼られていた。この扉は他の患者も通る廊下に面していて、上記の貼り紙は誰の目にも触れる状態だった。(「隔離にあたってのお知らせ」は病棟訪問時にすぐに剥がされ、排せつチェック用紙は訪問後の意見交換時に病院側に伝えたところ、「今後は詰所で預かるなど検討したい」とのことだった。)(病院:隔離のお知らせ等、扉に貼ったりせず本人に渡す様にします。排泄チェック表は詰所で管理します。)
- (2) 2-2病棟では1人の職員がある患者を「～ちゃん」と呼んでいた。(病院:今後は患者に対し“～さん”と呼ぶように周知徹底していきます。)
- (3) 病院全体の「将棋大会」の申し込み用紙や、3-3病棟では「なかまの家」見学申し込み用紙が詰所近くにあり、参加希望の患者は、そこに自分の名前を記入するが、それらの用紙は誰の目にも触れる状態だった。(病院:案内については掲示板を利用し、参加申し込みについては詰所内で管理します。)
- (4) 1-2病棟では掲示板の掲示物の一部がガムテープで貼られていた。何かを伝えるための掲示物であるはずなのに、読んで欲しいという思いが感じられなかった。職員を紹介する掲示が見当たらなかった。(病院:掲示物等に関してガムテープで貼らず、両面テープ等を使い丁寧に掲示致します。職員紹介については勤務職員がわかる様に掲示致します。)
- (5) 1-2病棟では「ひまわり」の連絡先は、電話をかけると



きに座る椅子から後ろに1.5mほど離れた場所に掲示されており、掲示を見ながら電話をかけることができない位置だった。(病院:掲示を見ながら患者が電話を掛けられる位置に掲示致します。)

(6) 1-2病棟の廊下の電灯が切れかけて点滅していた。患者に聞くと「昨日からこの状態」とのこと。(病院:切れかけた電灯は、すみやかに交換致します。)

(7) 2-2病棟では預かっている患者の衣装ケースが、廊下の物入れの上に名前が大きく貼られた状態で置かれていた。誰でも取ろうと思えば手が届く高さであった。(病院:早急に保管場所を移動致します。)

退院に希望の持てる情報提供や支援を

主治医や精神保健福祉士とは退院の話題は「できている」という声もある一方で、1-2病棟と2-2病棟の患者から「医師の診察も看護師からの声掛けも(新館に比べると)少ない。どれくらいで退院できるか聞いておらず、不安」「入院して8年ぐらい。困っていることは特になく。退院の相談はできていない」との声があった。1-2病棟では電話機の横に、平成8年度や平成10年度の大阪府や大阪市が作成した社会資源に関する冊子等が吊られていた。ここ数年の情報はなく、古いものばかりで色あせていました。

(1) 入院中の患者に対して、病院側が、診察・面談・ミーティング等を通して、また掲示・配布などにより、積極的に情報を提供していくことを検討していただきたい。(病院:掲示物が適正であるかどうかの見直しを行い、積極的に新しい情報を提供致します。)

(2) そして、こうしたことを含む治療方針や治療計画が患者に説明されるべきではないだろうか。(病院:特に長期入院の患者に対しては入院治療計画書の見直しを定期的に実施致します。)

(3) 一人ひとりの患者に対し、退院について希望と意欲を持てるようにする積極的な関りが求められていると感じた。(病院:退院に向けての多職種でのカンファレンスに患者も参加して頂き共に考えていきます。)

公衆電話の使いやすさについて

1-2病棟では人通りの多い廊下にあり、詰所横のため詰所内からも丸見えだった。2-2病棟では詰所の出入口の横で、囲いなどもなく、周囲は他患や職員がよく通っていた。(病院:電話の設置場所の移動を検討していきたいと思いま

す。又、囲い等も備え付け患者のプライバシーの保護にも努めていきます。)

落ち着いて療養できる環境を

(1) 1-2病棟の隔離室のトイレ周りに囲いがなかった。(病院:患者のプライバシー保護の為にも、今後囲い設置を検討していきます。)

(2) 1-2病棟ではトイレの数が少なかった。患者から「トイレを我慢することも多い。列にはならない。でも空いたらすぐ誰かが入るというように、みんな周りを見計らって動いている」との声があった。(病院:構造上の問題もなかなか早急に解決できない問題ですが、前向きに検討していきます。)

(3) 2-2病棟ではトイレ個室6つのうち3つは使用不可だった。トイレ個室の扉はガムテープで補強されていた。(病院:早急に修理致します。)

(4) 1-2病棟の208号室・209号室では病室内の通り道のような位置にベッドが置かれていた。(病院:通り道を確保する様に検討していきます。)

(5) 1-2病棟では冷房の効きが悪くて暑い場所があった。(病院:冷房の入替等、検討していきます。)

精神保健福祉資料より(平成26.6.30時点)

483名の入院者のうち統合失調症群が321名(66%)、気分障害が67名(14%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が65名(13%)。入院形態は任意入院170名(35%)、医療保護入院312名(65%)、措置入院1名(0.2%)。在院期間は1年未満が216名(45%)、1年以上5年未満の患者が126名(26%)、5年以上10年未満の患者が66名(14%)、10年以上20年未満が47名(10%)、20年以上28名(6%)。



扉よひらけ⑦

大阪精神科病院事情ありのまま 2015

クリック

210ページのうち 192ページ ほどは 大阪府内の精神科病床のある全病院への訪問活動の報告です。

A4 サイズ / 210 ページ
2,000 円

目次

- ・大阪における精神科病院への訪問活動のうつりかわり
- ・療養環境サポーター制度について
- ・各病院の訪問報告
- ・各病院の職種別職員数一覧表
- ・精神科病院訪問ボランティアへのインタビュー
- ・入院中の精神障害者の権利に関する宣言

療養環境サポーター
最新報告

人権センターニュース毎号 2 病院掲載中

入会やご寄付のおねがい

私たちの財政的基盤の中心は「会費」や「寄付」となります。活動を維持し、充実させるためには、皆様からの支援が必要となります。



電話・面会相談では相談者の方からお金を頂いておらず、訪問活動（療養環境サポーター制度）でも大阪府等から委託費用の支払はありません。特に面会活動の拡充のためには、交通費（1回 2,000 円～4,000 円／2名分）や複数の事務局スタッフの人事費（年間約 500 万円）が必要となります。

会費・寄付の申込と支払方法

ご寄付もいつでも受付けています。

会員種別 年会費

障害者	1,000 円
個人	3,000 円
団体	5,000 円

特別協力会員 & 寄付
大募集

A	10,000 円
B	30,000 円
C	50,000 円

会員特典

人権センターニュースの送付

2か月に1回 年間6冊

人権センターニュースは、「声をきく」ことを重要な価値観とする私たちだからこそ発信できる情報が盛りだくさんです。また、病院訪問報告書も毎号2病院掲載しており、大阪府内の病院の療養環境の改善状況等をることができます。当事者・家族の皆様だけでなく、精神科病院に勤務する皆様や地域精神医療保健福祉にかかわる皆様にも必見です。



メルマガ配信 1か月に1回から2回

精神医療及び精神保健福祉にかかわる最新ニュースや私たちの講演会・セミナー情報等をいち早くお知らせします。

活動参加の方の情報提供

面会活動だけでなく、講演会の企画・運営や広報誌・SNSによる情報発信のサポート等いろいろな形で参加できます。

※面会活動は養成講座の受講が条件となります。

寄付特典



税額控除とは？

ご寄付をしても
税額控除を受け
られる場合、
確定申告によって
『税額控除』を受ける
ことができます。

*確定申告は最寄りの税務署に
ご相談ください。*大阪府（本市を除く）に在住
の方は、地方税のみ控除されます。*控除には限度額があり、実際の
税額はケースにより異なります。

10,000円のご寄付で、2～3名の面会が可能になります。

寄付金 1万円の時

所得税額 -3,200円

実質負担
6,800円

寄付金 5万円の時

所得税額 -19,200円

実質負担
30,800円郵便払込 口座番号 00960-3-27152
加入者名 NPO 大阪精神医療人権センター

銀行振込 三井住友銀行 南森町支店 普通 1485805

現金 講演会会場・事務所にて

クレジットカード ウェブサイトのみ



こちらより申込書をダウンロードできます

検索 大阪精神医療人権センター

<http://www.psy-jinken-osaka.org/>

入会・寄付は WEB でも手続きできます。



認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター

お問い合わせ

〒530-0047 大阪市北区西天満 5-9-5 谷山ビル 9F

TEL 06-6313-0056 FAX 06-6313-0058 メール advocacy@pearl.ocn.ne.jp